

証券コード：4406

New Japan Chemical Co., Ltd.



第140期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



 **新日本理化学株式会社**



人と化学に向かい合う



事業領域／社会で活躍する当社製品

生活分野

天然の植物・動物油を主原料に、当社独自の高压還元・選択水素化技術で、化粧品やシャンプー・リンス等の材料を提供しています。



IT分野

高品質、高機能の酸無水物は、LEDや液晶ディスプレイ・電子機器等でも利用され、急拡大する市場のニーズに対応しています。



医薬分野

優位性を誇る高压水素化反応や高度精製技術を応用し、当社は医薬中間体（医薬製造原料）の製造にも取り組んでいます。



環境分野

「地球に優しい」天然油脂をベースに様々な技術・ノウハウを駆使し、低環境汚染型界面活性剤等の環境配慮型製品を開発しています。



独自技術を活かした新製品の開発、 既存の枠にとらわれない新たな『もの創り』に挑み、 更なる業績向上に努めてまいります。

代表取締役社長 藤本万太郎



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第140期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における概要をご報告申し上げます。

事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、サプライチェーンの復旧や企業マインドの改善により、東日本大震災の落ち込みから、着実に持ち直しつつありますが、円高の長期化や海外景気減速など景気の下振れ懸念があり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

化学業界におきましても、石油化学原料の相場が、不安定な動きを見せたほか、天然油脂原料も供給不足の懸念が続くなど、厳しい環境が続きました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、製品価格の適正化や製造原価の低減に加え、諸経費の削減に全社を挙げて取組み、収益確保に努めてまいりました。

しかしながら、当中間期半ばより、国内需要が低迷したため、販売数量が減少に転じたほか、円高の進行が輸出採算の悪化をもたらし、収益面では不十分な結果となりました。

以上の結果、当中間期における当社グループの売上高は146億7百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益3億9千4百万円（前年同期比64.4%増）、経常利益4億8千6百万円（前年同期比47.6%増）、中間純利益4億2百万円（前年同期比143.0%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、誠に遺憾ではありますが、前年同様に見送らせていただきたく、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、自動車の増産や節電関連商品の売上高増加に期待が寄せられるなど一部に明るい兆しが見られるものの、取引先における生産・販売拠点の海外移転や部材の海外調達加速など、円高の定着を背景とした受注の減少が懸念され、先行き厳しい状況が予想されます。

こうした状況下、当社グループでは、独自技術を核とした特徴を有する新製品開発を推し進めるとともに、既存の枠にとらわれず常に新しい『もの創り』に挑戦し続け、景気に左右されない収益体質を強化した経営基盤づくりを目指すほか、新興国市場への積極的な営業活動により、一層の業績向上に努めてまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

[illegible]

	前中間 平成22年9月30日現在	当中間 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	10,539	10,233	10,135
支払手形及び買掛金	5,637	5,126	5,570
短期借入金	1,894	1,948	1,465
1年内返済予定の長期借入金	1,607	1,708	1,624
1年内償還予定の社債	28	37	37
未払法人税等	57	66	86
賞与引当金	214	239	243
その他	1,100	1,105	1,106
固定負債	10,849	9,001	10,013
社債	344	371	390
長期借入金	6,549	4,809	5,693
退職給付引当金	1,962	1,970	1,985
役員退職慰労引当金	37	43	40
負ののれん	521	403	462
その他	1,434	1,404	1,441
負債合計	21,388	19,234	20,149
【純資産の部】			
株主資本	11,193	12,117	11,715
資本金	5,660	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246	4,246
利益剰余金	1,453	2,378	1,976
自己株式	△168	△168	△168
その他の包括利益累計額	△471	△396	△302
その他有価証券評価差額金	520	454	567
繰延ヘッジ損益	△31	△9	△19
為替換算調整勘定	△960	△840	△851
少数株主持分	608	638	628
純資産合計	11,329	12,359	12,040
負債・純資産合計	32,718	31,594	32,189

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間 (平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで)	当中間 (平成23年4月 1 日から 平成23年9月30日まで)	前期 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)
売上高	14,278	14,607	29,330
売上原価	11,969	12,125	24,671
売上総利益	2,309	2,481	4,658
販売費及び一般管理費	2,070	2,087	4,223
営業利益	239	394	435
営業外収益	239	233	396
営業外費用	149	141	266
経常利益	329	486	565
特別利益	0	5	508
特別損失	98	16	113
税金等調整前中間(当期)純利益	231	475	960
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	182	422	724
中間（当期）純利益	165	402	687

連結キャッシュ・フロー計算書

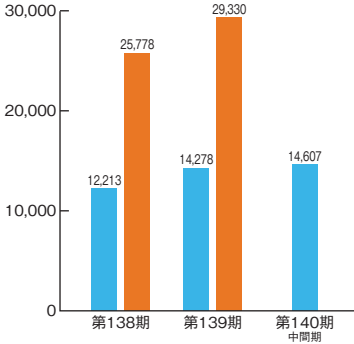
(単位：百万円)

	前中間 (平成22年4月 1 日から 平成22年9月30日まで)	当中間 (平成23年4月 1 日から 平成23年9月30日まで)	前期 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	572	383	794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349	△303	494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	△409	△1,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△8	△7
現金及び現金同等物の増減額	△23	△338	△229
現金及び現金同等物の期首残高	1,829	1,728	1,829
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	128	—	128
現金及び現金同等物の中間 期末(期末)残高	1,934	1,390	1,728

業績ハイライト

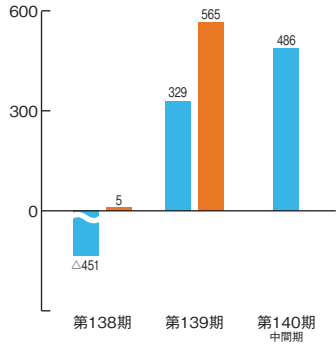
売上高

(単位：百万円)



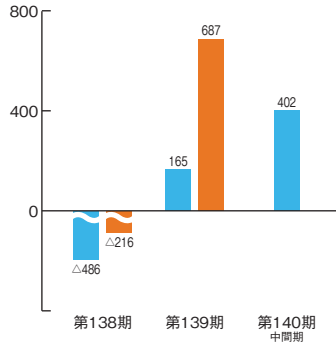
経常利益

(単位：百万円)



中間(当期)純利益

(単位：百万円)



セグメント別売上高

● 油脂製品セグメント

売上高 58億8千1百万円

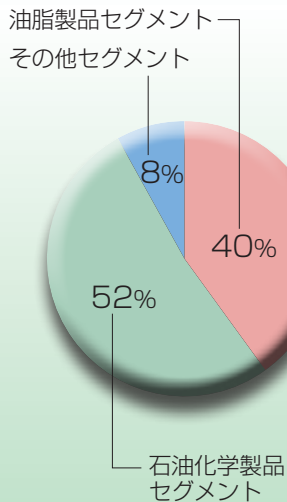
● 石油化学製品セグメント

売上高 75億6百万円

● その他セグメント

売上高 12億1千8百万円

セグメント別売上高構成比



油脂製品セグメント

脂肪酸、グリセリン等の油脂製品は、震災による需要減により、一部脂肪酸の販売数量が大きく減少しましたが、販売価格の改定に努めたため、売上高は増加いたしました。

アルコール製品は、トイレタリー分野における国内需要の不振などにより、販売数量は前年を下回りました。しかしながら、原料価格高騰に伴い販売価格の是正をいたしましたため、売上高は増加いたしました。



石油化学製品セグメント

化成品部門は、可塑剤が被災地復興の遅れから、販売先において過剰な製品在庫を保有する状況が続いたほか、輸入品も流入したため、販売数量、売上高ともに前年を下回りました。

機能製品部門は、自動車関連が回復傾向にありましたものの、電機関連の需要が減少しましたことから国内の販売数量は微減となりました。

しかし、輸出は欧州向けに好調に推移したため、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

樹脂添加剤は、被災した販売先の稼働再開に時間を要したほか、収益面では前期に引き続き、円高の進行により採算が悪化しました。



その他セグメント

その他セグメントにおきましては、主力の防錆剤、水溶性切削油等の売上高は前年を下回りましたが、その他、商社部門が順調に推移したため、売上高は増加いたしました。



会社概要（平成23年9月30日現在）

社名	新日本理化学株式会社
設立	大正8年11月10日
資本金	5,660,863,449円
従業員数	368名（単体） 470名（連結）
事業所	大阪本社 大阪市中央区備後町二丁目1番8号 備後町野村ビル 東京支社 東京都中央区新川一丁目3番3号 第17荒井ビル 研究所／京都工場 京都市伏見区葭島矢倉町13番地 徳島工場 徳島県徳島市川内町榎瀬1番地 川崎工場 川崎市川崎区浮島町7番2号 堺工場 堺市西区築港新町3丁5番地1

重要な子会社および関連会社（平成23年9月30日現在）

連結対象子会社	日新理化学株式会社
	アルベス株式会社
	千葉脂肪酸株式会社
	日東化成工業株式会社
持分法適用 関連会社	NJC Korea Co.,Ltd.
	Emery Oleochemicals Rika (M) Sdn.Bhd.
	台湾新日化股份有限公司
	Grandee Biotechnologies Sdn. Bhd.

役員（平成23年9月30日現在）

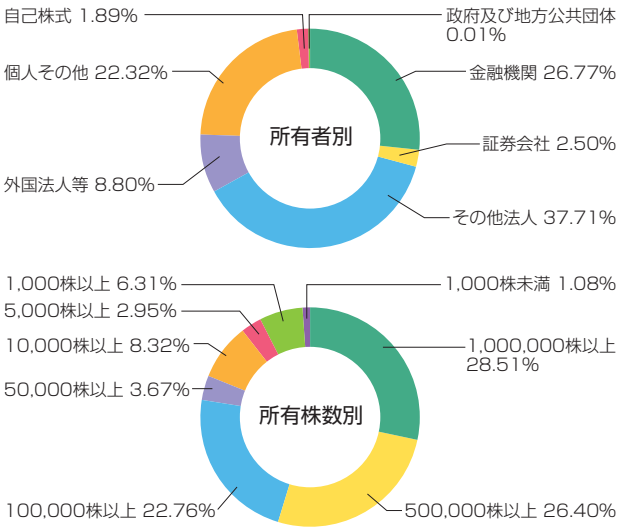
取締役会長	野村正朗
代表取締役社長	藤本万太郎
常務取締役	原健二
常務取締役	林豊
取締役	寺澤静男
取締役	状家美香
取締役	加藤慎治
取締役	藤牧慎一
常勤監査役	山本隆
常勤監査役	加藤純
常勤監査役	由元憲昭
監査役	織田貴昭

株式の状況（平成23年9月30日現在）

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	38,008,906株 （うち自己株式716,495株）
株主数	4,110名
大株主（上位10名）	

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
大阪証券金融株式会社	2,114,800	5.67
UNION BANCAIRE PRIVEE	1,864,000	5.00
株式会社りそな銀行	1,861,533	4.99
株式会社西日本シティ銀行	1,633,300	4.38
フクダ電子株式会社	1,199,000	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1,155,600	3.10
協和発酵ケミカル株式会社	1,009,000	2.71
三井住友海上火災保険株式会社	941,600	2.52
日油株式会社	922,875	2.47
東洋テック株式会社	920,000	2.47

●株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 臨時に必要な場合は、その都度公告いたします。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.nj-chem.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第一部
証券コード	4406
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合わせ 〔郵便物送付先〕	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/dai kou/

—— ホームページのご案内 ——



URL

<http://www.nj-chem.co.jp/>

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。

詳しくは ▶▶▶



IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた皆様に、最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。



 **新日本理化株式会社**